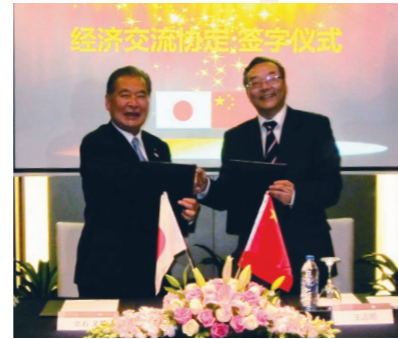


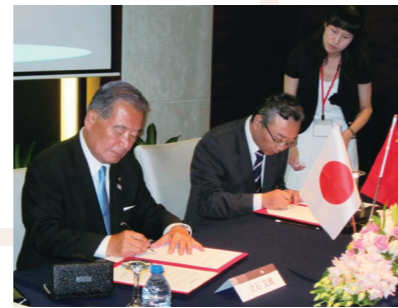
上海市工業商業連合会との 経済交流協定に調印

6月7日、本所は上海市最大の商工業団体である上海市工業商業連合会と経済交流協定を締結した。調印式には立石会頭、南常議員・観光産業特別委員長、杉本議員（㈱JTB西日本京都支店執行役員支店長）などが出席。立石会頭は「両地域の経済発展に向けて中長期的な協力関係を築きたい。両団体の協力関係の樹立により、両地域の会員企業の日中のビジネスが一層促進されることを期待している」と挨拶。上海市工業商業連合会の王主席と相互関係を深めながら両地域の経済を発展させることを誓った。同協定は、相互のミッション派遣、商談・販売促進、観光分野での協力を内容としている。

※上海市工業商業連合会：1951年2月設立、
会員数は約40,000社。



経済交流協定に調印して握手を交わす立石会頭と王主席



調印する立石会頭



広東省工業商業連合会幹部と懇談する立石会頭ら訪問団



説明に耳を傾ける現地関係者



広州にて観光プレゼンテーションをする立石会頭

訪問した上海と広州では、中国の商工会議所に相当する経済団体である上海市工業商業連合会と広東省工業商業連合会の正副主席等と親しく懇談した。また、同連合会の有力会員、現地旅行会社やマスコミ記者を対象に、産業観光やとっておきのパーティスペースなど、経済界ならではの情報を盛り込んだセミナーを開催し、旅行先としての関西の魅力やPRして富裕層の誘客とインセンティブ旅行の誘致活動を行った。

現地企業や旅行会社から関西への旅行に対する強い関心が寄せられたため、今後はホームページを立ち上げて関西の観光に関する継続的な情報提供を行うとともに、関西へのインセンティブ旅行の受入れにあたって視察先の紹介など、必要な支援を行うこととなった。

上海、広州で 関西・京都の魅力をPR

関西6商工会議所



経済界がお勧めする関西観光を中国でPR

広域観光トッププロモーション

本所は、大阪・神戸・奈良・大津・和歌山の5商工会議所とともに、近畿運輸局と連携（ビジット・ジャパン地方連携事業）して、各商工会議所の会頭・副会頭等が参加する中国（上海・広州）への広域観光トッププロモーションを、6月7日から2泊3日の日程で実施した。

現地では、経済団体幹部等と懇談するとともに、延べ300名を超える現地マスコミや旅行会社、有力企業に対して、旅行先としての関西の魅力を紹介するプレゼンテーションを実施し、富裕層の誘客とインセンティブ旅行（報奨旅行）の誘致活動を行った。

※インセンティブ旅行とは、企業などが取引先の招待や、成績優秀な従業員の表彰や研修等の目的で実施する旅行のこと。通常のパッケージ旅行では味わえない、魅力的で印象的な内容が求められるため、一般的に通常の旅行に比べて消費単価が高く、地域への経済効果が期待できる。



現地旅行会社やマスコミに向けてプレゼンテーションする立石会頭



インセンティブ旅行を扱う事業者向けに制作した関西観光パンフレット



関西の観光に関する資料を手取る現地関係者

ここ数年、東アジア、特に中国からの観光客が急増している。彼らの大半は、東京に入国して買い物をし、富士山を観て箱根の温泉に泊まり、清水寺に立ち寄って大阪に泊まり買い物をして帰国する、「ゴールデンルート」と呼ばれるツアーで観光しており、京都への入浴はごく短時間に限られている。

こうした中、同地域からの観光客、とりわけ富裕層をはじめ、企業や団体などが実施するインセンティブツアーの関西への招致は、大きな経済波及効果が期待されるだけでなく、関西各都市のブランド発信につながるなど、観光の質的転換を図る観点からも取り組む必要がある。

このため、魅力的な観光地や多くの観光施設などが集積する関西の6商工会議所が連携し、産業観光など経済界の視点ならではのユニークベニュー（他にはない魅力的な施設等）や関西観光のモデルルートをPRするため、中国企業へのトップセールスを実施した。

府県を超えた 広域観光インバウンド

（経済界による全国初の取り組み）